



# 白鷗

# 種高同窓会報

No.23 令和2年4月1日

## 7代目種市丸!!

### 主な内容

あいさつ	2ページ
奮闘努力	3ページ
七代目種市丸竣工	4ページ
生徒の活動	5～7ページ



発行 / 岩手県立種市高等学校同窓会  
〒028-7912 岩手県九戸郡洋野町種市第38地割94番地110  
TEL 0194-65-2145 FAX 0194-65-5654  
ホームページアドレス <http://www2.iwate-ed.jp/tan-h/>  
編集 / 岩手県立種市高等学校同窓会報編集委員会

7代目種市丸が平成31年3月に竣工し、令和元年5月には種市漁港で竣工式が行われました。  
先代の種市丸は、平成元年に就航し30年間、潜水実習を見守り続けました。

4～5ページには7代目種市丸の紹介や竣工式の様子、歴代種市丸の写真を掲載しています。  
ぜひご覧になってください。



### 同窓会長



同窓会長 日 當 博 治  
(昭和43年度 卒業)

同窓生の皆様には、同窓会の運営に種々ご支援を賜っておりまして、深甚の敬意と感謝を申し上げます。

さて、令和二年が幕を開け、早いもので種市高校は卒業と入学の春を迎えようとしております。

令和という新しい時代となつて、母校である種市高校の今後が気になるところであります。同窓会の今後にも気になるところであります。

親睦を大事にししながら、同窓会として何かしら力を発揮する必要がある時は、会員が一人丸となって行動できるよう、その連帯意識を醸成しておきたいと考えていました。しかし、職業人として各々多忙を極める会員諸氏に万遍なく声をかけ、盛況な同窓会として運営できたかと言え、必ずしもそうではなかったと思つて見えます。それは学校に対して目に見える支援活動や協力活動といった、具体的な活動目標を提示できる機会がなかったことでもあります。

数年は各支部とも参加する会員が少なくなつていると感じています。また、社会の変化とともに学校との関わり方、同窓会の組織の在り方も検討する必要があります。

希望の春を迎え、今年もまた五十八名の有為な人材が種市高校を卒業し、社会に羽ばたきます。令和の時代にあつて、彼らの前途に洋々たる道が拓かれんことと、同窓生各位のご活躍並びに母校の限らない発展をご祈念申し上げます。

ご挨拶といたします。

も些小ではありますが負担金を抛出し、この振興会を通じて学校活動や部活動の支援ができています。また、ご案内のとおり平成三十年十月には種市高校創立七十周年記念式典の運営に参画し、同窓会として役割を果たして参りました。今後においても種市高校の振興・発展のため必要とされる活動に、私たちは惜しまない支援行動をとるべきと考えております。

今や種市高校は、高校再編の流れの中にあつて、その存続が常に心配される状況にあります。母校の存続と発展を希う同士として、同窓生各位には本会の運営にさらなるご支援とご協力をお願いいたします。

平成三十一年四月、校長に就任いたしました松場喜美夫と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。

同窓会の皆様、日頃より母校に對しまして、ご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

### 校長



校長 松 場 喜美夫

同窓会につきましては、五月の種市での役員会、総会、六月の東京支部、久慈支部、七月の八戸支部と全ての会合に参加させていただき、日當会長はじめ各支部長様、ご参加の方からたくさんのご厚情を賜りました。

子どもたちは少なくなつていますが、町内外で活動しています。宿戸ウニ直売会の手伝い、町の小学生対象の勉強会講師、八戸線ラッピングトレインのイラスト作成、たねいちウニまつりでのグッズ販売や潜水実演、海の日の晴海埠頭イベント、八景島イベント、海洋教育子どもサミット、さらに、海洋開発科の奉仕班による近隣小中学校での清掃

活動など、様々な場面で自分たちの学んだことを発揮してまいりました。昨年は普通科二年生が、地元企業とコラボして種市の魅力を見つけ、さらにブラッシュアップするにはどうすればいいかを話し合い、発表するという企画に参加しました。

が、令和元年度は百五十九名と百名の減少となっております。このため、平成三十年からは普通科は一学級募集となり、令和二年度は、全学年で普通科、海洋開発科共に一学級、全六学級の学校となります。

私としましても、座して待つわけにも行かず、ご挨拶を兼ねて近隣中学校に出向き、また、中学校での高校説明会等にも参加し、中学生、保護者の皆様にお話しさせていただきましたところ、特に海洋開発科については、六月の三陸国際ガストロノミー会議、九月のデーリー東北の特集、同じく九月の岩手日報の「洋野町新聞」コーナー、十一月の岩手めんこいテレビのABC-Zの雨ニモマケズ、十二月にはG O O D・L U C H・S T O R Y (You・Tube 配信中) など、新聞、テレビ等でたくさん取り上げていただきました。

町で作製していただいたPRポスター「ヒロノジ」と学ぼう。は、土木学会主催「土木広報大賞2019」で優秀部門(企画部門)賞を受賞しました。

子どもたちは少なくなつていますが、町内外で活動しています。宿戸ウニ直売会の手伝い、町の小学生対象の勉強会講師、八戸線ラッピングトレインのイラスト作成、たねいちウニまつりでのグッズ販売や潜水実演、海の日の晴海埠頭イベント、八景島イベント、海洋教育子どもサミット、さらに、海洋開発科の奉仕班による近隣小中学校での清掃

部活動では、レスリング部は、残念ながら高総体、新人戦共に学校対抗では盛岡工業に敗れ準優勝。それでもインターハイでは、男子九十二キロ級で庭誠弥君が五位に入賞しました。少子化で部の統廃合も必至ですが、野球部が久慈工業高との連合、女子バレーボール部が他の部員を借りて、それぞれ新人戦県大会に出場しました。

進路面では、六割が就職、一割が大学・短大、三割が専門学校。全国的な人手不足もあつて就職は好調でした。また、大学では一昨年ゼロであつた国公立が、令和元年度は公立に一名合格いたしました。

全国的には、オリンピック・パラリンピックを控え賑やかな雰囲気がありますが、地方と中央の経済格差の拡大、人口流出・少子高齢化の加速、大学入試制度改革、学習指導要領の改訂など、子どもたちを取り巻く環境は決して明るい未来ばかりではありません。

学校としては、生徒一人ひとりを大切に、肅々と「自愛・自立・自強」を身につけた生徒の育成に努めて参る所存であります。同窓会の皆様はじめ、関係の方々、地域の皆様をますますのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 奮闘努力力

## 努力が実った全国5位

海洋開発科3年 庭 誠 弥

私は小さい頃から海の近くで育ってきました。種市高校に入学を決めたきっかけは、中学校で卒業後の進路を決めるときでした。中学では柔道をしていて、続けるか迷っていました。そんなときに、父が種市高校でレスリングをしていたのでその影響で柔道をやめて、父が残した記録を越えたいと思いました。

入学後は、部員の中で一年生から一番努力したと思います。一年生のときから全国の大舞台を経験しました。いつもあと少しで入賞する手前までいきました。このままでは駄目だ、もっと練習を頑張らないかと思い、一層努力しました。その結果が出たのが、2年生の東北選抜大会からでした。私はその大会で優勝したことがとても嬉しかったのです。3年生になってからも県大会・東北大会で優勝することができ、インターハイへの気持ちが高まってきました。迎えたインターハイでは、一回戦、強豪校である選手に



プロのダイバーを目指す、庭くん

10-1で勝ち初戦突破することができました。二回戦も同じように自分のレスリングスタイルで戦い10-0で勝ち、ベスト8になり入賞することができました。次の相手には勝てるチャンスがあったもののそれを活かせずに負けてしまいました。でも、ベスト16という高い壁を越えることができ、初めて全国大会で入賞することができました。これまで努力をし続けた三年間でした。練習だけを頑張るのではなく、日常生活でもしっかりとすることが必要だと先生方から教わることもありました。種市高校での三年間は、私を人として成長させてくれたことに本当に感謝しています。ありがとうございます。

# 生徒の活動

## 夢の実現をめざして

普通科3年 権代 瑞歩

私が大学へ進学を決めたのは高校3年生の夏頃でした。それまでは専門学校へ行き幼稚園の先生を目指そうと、オーブンキャンパスへ何回も参加していました。しかし、あの体験を機に小学校教員になりたいという夢が変わりました。そのきっかけは夏休み中に行われた洋野公営塾で地域の小学生に算数を教えたことでした。大学を受験するには少し遅い決断でしたが、先生方や親と相談し、教育学科のある大学を受験することを決定しました。準備はとて大変で、受験内容にプレゼンテーションもあつたので、作成の過程でもとても苦労するものでした。しかし、友人や先生方に支えられ、受験の準備が万全の状態を受験に向かうことができました。

合格発表の日、友人が私よりも喜んでくれたことは一生忘れられないことです。自分で決めた夢を実現できるように、大学生活でも一生懸命に頑張っていきたいと思っています。



仲間に支えられ、難関大学へ合格した権代さん

しかし、どんな時でも私たちの支えになってくださいました。種高の先生方と出会えて本当に良かったです。ありがとうございます。

## ガンバレ! 種市高校

**株式会社 岩本電機**  
 IWAMOTO  
 会長 岩本明佳 (昭和51年度 普通科卒)  
 〒028-7901 岩手県九戸郡洋野町種市第13地割41番地25  
 TEL 0194-65-3930(代) FAX 0194-65-3899

---

**株式会社 カンキョウ**  
 代表取締役会長 松橋武志 (昭和44年度 普通科卒)  
 代表取締役社長 信田公男 (昭和44年度 普通科卒)  
 〒028-7913 岩手県九戸郡洋野町種市第25-19-2  
 TEL 0194-65-2860(代) FAX 0194-65-5336

港湾土木一式  
**有川海事土木株式会社**  
 〒144-0042 東京都大田区羽田旭町2番3号  
 電話 03-3745-4334番(代)  
 F A X 03-3745-2839

---

**磯崎潜水**  
 代表 磯崎元勝 (昭和52年度 水中土木科卒)  
 〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市第23地割27番地56  
 TEL 0194-65-2002 FAX 0194-65-2009

# 七代目種市丸竣工!

令和元年五月十日、種市漁港で新種市丸の竣工式を行いました。老朽化に伴う更新で約三十年ぶりの新造船竣工であり、式典には関係者約五十名、海洋開発科の生徒八十三名が出席しました。生徒代表の木村太謹さんが「安全で効果の高い実習を目指し、大切に使用していきたい。さらに技術を磨き、立派な海洋技術者になれるように頑張りたい」と誓いました。

種市丸紹介…海底地形を詳細に捉える3Dソナーや潮流計等を搭載。ヘルメット潜水の他、ROV運用の知識や、マルチダイビングシステムを用いた様々な潜水器での潜水を学ぶ。水中酸素減圧設備や再圧タンクを備え次世代の海洋土木現場に対応する知識を習得する。予備コンプレッサーや高圧カールドルを備え潜水実習の安全性がより高まった。



7代目 種市丸

### 種市丸主要項目

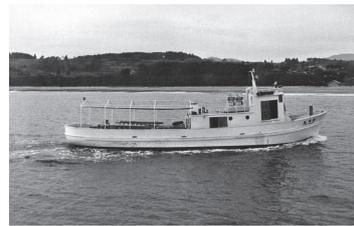
全長	23.8m	起工	平成30年8月21日
幅	5.7m	進水	平成31年2月21日
総トン数	43トン	竣工	平成31年3月15日
速力	11ノット	設計	日本造船技術センター
最大搭載人員	50名	建造	株式会社北浜造船鉄工



6代目 種市丸 33トン  
平成元年4月～平成31年2月迄就航



5代目 種市丸 30.4トン  
昭和50年2月～平成元年3月迄就航



4代目 種市丸 13.56トン  
昭和41年11月～昭和50年2月迄就航



3代目 種市丸 7.8トン  
昭和33年10月～昭和41年11月迄就航



2代目 種市丸 3トン  
昭和28年～昭和40年12月迄就航



初代 種市丸 3.5トン  
昭和27年12月～昭和40年12月迄就航



## ガンバレ! 種市高校



### 株式会社 東京久栄

代表取締役社長 高月邦夫

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-1-15  
技術センター 〒333-0866 埼玉県川口市芝6906-10

久慈市中町鎮座 巽山稻荷神社 TEL 0194-53-4086  
FAX 0194-53-4120

久慈市夏井町鎮座 若宮八幡宮 TEL 0194-53-4064

宮司 播磨 孝則 (昭和44年度 普通科卒)

### 日本土木設計 株式会社

取締役 平中利明 (平成4年度 海洋開発科卒)  
〒231-0033 横浜市中区長者町2-5-14  
TEL 045-663-3264 FAX 045-663-1348  
E-mail: tainaka@ndse.co.jp

### 種市電工 株式会社

代表取締役 松橋武志 (昭和44年度 普通科卒)  
〒028-7913 岩手県九戸郡洋野町種市第25地割19番地2  
TEL 0194-65-3565(代) FAX 0194-65-3509



ダイバーホースを巻き取る滝田君と岩館君

種市丸に搭載されたマルチダイビングシステムは水深40mを超える混合ガス潜水が可能なコントロールパネルを基に様々な潜水器の接続が可能です。空気や呼吸用ヘリウムガスの管理やダイバー間通話、ダイバーの滞在水深も一括で把握できます。



コントロールパネルを点検する向井君と番澤君

# 潜水設備紹介



ROVを操縦する馬場君と真井君

また、海洋工事に不可欠な水中カメラロボットROVを搭載することで運用を学び潜水とROV運用の両立をできる人材を目指します。



ダイバーに装備を着せる庭君  
潜水直前の藤田君

ヘルメット潜水士6名が同時に潜水可能なコンプレッサーの他、バックアップラインとして高圧空気のボンベ集合体も搭載。法改正に伴う水中酸素減圧や再圧タンクの設備を備えています。



海洋開発科の3年生



実習の安全を祈願する生徒代表の天下君



式典会場となった種市漁港

## 竣工式の様子



船名書き入れ作業



ダイバーホース巻き込み防止プロペラ



種市丸甲板開口部

## 建造中の種市丸

# ガンバレ！ 種市高校

土木建築工事一式  
**丸博渡辺建設**  
 有限会社  
 代表取締役 渡辺 邦博 (昭和52年度水中土木科卒)  
 〒031-0803 八戸市諏訪一丁目15番50号 TEL 0178-43-4097 FAX 0178-43-3370

～海の職人集団～  
**三国屋建設株式会社**  
 代表取締役社長 和田 英司  
 〒314-0112 茨城県神栖市知手中央2-1-2  
 TEL 0299-96-5068 FAX 0299-96-5098  
 支店：東京・千葉・鹿島・東海・東北

海と大地を創造する!!  
**東日本海洋建設株式会社**  
 HIGASHINIHO KAIYOU KENSETSU  
 代表取締役 新保 和良  
 〒290-0051 千葉県市原市君塚5-13-11 電話0436-22-5380 FAX0436-23-2245  
 URL:http://www.hnkk.co.jp E-mail hnkk@hnkk.co.jp

各種新車 中古車販売・車検・钣金塗装  
**八木自動車サービス**  
 有限会社  
 代表取締役 吹切 成人 (昭和54年度普通科卒)  
 〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市32-59-3  
 TEL 0194-65-4526 FAX 0194-65-5234

令和2年度 クラブ活動 — 主な記録 —

レスリング部

【JOCレスリング選手権大会】
カデット・フリースタイル 80kg級 第3位 鹿糠 鉄斗
カデット・グレコローマンスタイル 60kg級 第3位 及川 太一
ジュニア・フリースタイル 86kg級 ベスト8 庭 誠弥

【第71回岩手県高等学校総合体育大会】
男子個人戦 盛岡工 3-4 第2位 東北大会へ
3-1 第1位 真井 佑輔
51kg級 第3位 橋本 颯斗
65kg級 第3位 及川 太一
80kg級 第1位 吉水 智也
92kg級 第2位 鹿糠 鉄斗
125kg級 第1位 小庭 誠弥
150kg級 第2位 小庭 誠弥
180kg級 第1位 小庭 誠弥
200kg級 第1位 小庭 誠弥

女子個人戦
57kg級 第1位 大橋 さくら
50kg級 第2位 熊谷 かなめ
125kg級 第1位 熊谷 かなめ
92kg級 第2位 熊谷 かなめ
80kg級 第3位 熊谷 かなめ
60kg級 第3位 熊谷 かなめ

【東北高等学校レスリング選手権大会】
学校対抗戦 初戦敗退
個人対抗戦 (対八戸学院光星 6-1)
51kg級 第3位 真井 佑輔
80kg級 第3位 庭 誠弥
92kg級 第3位 庭 誠弥
125kg級 第3位 庭 誠弥

女子個人戦
47kg級 第2位 渡辺 里奈
53kg級 第3位 熊谷 かなめ
55kg級 第3位 熊谷 かなめ
60kg級 第3位 熊谷 かなめ
65kg級 第3位 熊谷 かなめ
71kg級 第3位 熊谷 かなめ
80kg級 第3位 熊谷 かなめ

【岩手県少年レスリング競技団体選手権大会】
個人対抗戦 フリースタイル
51kg級 第1位 真井 佑輔
55kg級 第3位 庭 誠弥
60kg級 第3位 庭 誠弥
65kg級 第3位 庭 誠弥
71kg級 第3位 庭 誠弥
80kg級 第3位 庭 誠弥

グレコローマンスタイル 125kg級 第1位 倉本 千尋
51kg級 第2位 真井 佑輔
55kg級 第3位 相野 太馬
60kg級 第3位 川村 正太朗
65kg級 第3位 佐藤 友斗
80kg級 第3位 清水 奎汰
71kg級 第3位 佐藤 友斗
92kg級 第3位 小庭 誠弥
125kg級 第2位 倉本 千尋

【全国高等学校総合体育大会】
個人対抗戦
51kg級 第3位 真井 佑輔
80kg級 第3位 庭 誠弥
92kg級 第3位 庭 誠弥
125kg級 第3位 庭 誠弥

【世界カデット選手権】
女子個人対抗戦
47kg級 第2位 渡辺 里奈
60kg級 及川 太一

【全国高校生グレコローマンスタイル選手権大会】
個人対抗戦
51kg級 第2位 真井 佑輔
60kg級 第3位 庭 誠弥
80kg級 第3位 庭 誠弥
92kg級 第3位 庭 誠弥

【国民体育大会】
個人対抗戦 フリースタイル
51kg級 第3位 真井 佑輔
80kg級 第3位 庭 誠弥
92kg級 第3位 庭 誠弥

【岩手県高等学校新人レスリング選手権大会】
学校対抗戦 準優勝
個人対抗戦
62kg級 角本 莉音
53kg級 北山 里奈
47kg級 渡辺 熊谷 かなめ

【JOC杯全国予選北海道・東北ブロック大会】
個人対抗戦
62kg級 第3位 角嶋 優美
53kg級 第2位 花本 莉奈
47kg級 第2位 北山 莉音

【春季東北地区高等学校野球岩手県大会東北地区予選】
本校は大野・軽米と三校連合で出場
1回戦 三校連合 8-10 久慈工業
敗者復活戦 1回戦 三校連合 10-0 福岡工業

【秋季東北地区高校野球岩手県大会】
1回戦 種市・久慈工業連合 1-6 伊保内
敗者復活戦 1回戦 福岡工業 5-11 種市・久慈工業連合

【全日本女子オープンレスリング選手権大会】
女子個人対抗戦
53kg級 渡辺 里奈 出場
60kg級 及川 太一 出場

硬式野球部

ガンバレ！ 種市高校

里見印刷
里見洋江
〒028-7914 岩手県九戸郡洋野町種市第22地割129番地80
TEL 0194-65-2653・4240 FAX 0194-65-2653
E-mail:satomi-pr@ark.ocn.ne.jp

みかわ貸切バス
観光旅行、クラブ活動の遠征、冠婚葬祭等に
株式会社 三河交通観光 久慈市中央2-13 TEL0194-53-6161

八木郵便局
局長 石橋 勝彦 (昭和53年度 普通科卒)
〒028-7903 岩手県九戸郡洋野町種市1-57-2
TEL 0194-67-2103

海洋土工一式
株式会社 エムエスケー
代表者 溝口 幸政
〒031-0812 青森県八戸市大字湊町字下条5番地3
TEL 0178-33-0066 FAX 0178-33-0066

### 男子バレー部

【若手県高等学校総合体育大会】

2回戦 0-12 盛岡一

【全日本バレーボール高等学校選手権(若手県予選会)】

久慈地区予選 敗退

### 女子バレー部

【若手県高等学校体育連盟久慈支部バレーボール競技強化大会】

種市 0-12 久慈東  
種市 2-10 大野

【若手県高等学校総合体育大会】

1回戦 2-11 水沢工  
2回戦 0-12 盛岡四

【全日本高等学校バレーボール選手権大会(若手県予選会)】

種市 0-12 久慈  
地区予選通過ならず

【若手県高等学校新人大会】

種市 0-12 久慈東  
種市 0-12 久慈  
地区予選通過

### バスケットボール部

【若手県高等学校総合体育大会】

1回戦 種市・大野 49-106 盛岡二

【全国高等学校バスケットボール選手権大会】

種市 27-87 久慈東  
種市 34-82 久慈

【若手県高等学校新人バスケットボール大会】

種市 32-81 久慈東  
種市 29-78 久慈  
地区予選敗退

### バドミントン部

【若手県高等学校総合体育大会地区予選】

種市 0-13 久慈  
種市 1-13 久慈東

【若手県高等学校新人大会地区予選】

種市 0-13 大船渡  
種市 0-13 久慈東  
種市 0-13 久慈

個人戦 シングルス・ダブルスともに通過者なし  
【若手県高等学校新人バドミントン大会】

### 陸上競技部

【若手県高等学校総合体育大会 地区予選】

若本 光平 100m 200m 予選敗退  
屋間 琉聖 やり投げ 円盤投げ 予選敗退

【若手県陸上競技選手権大会】

若本 光平 100m 200m 予選敗退  
大久保 新月 100m 200m 予選敗退  
立花 旭 100m 200m 予選敗退

【若手県高等学校新人大会】

若本 光平 100m 200m 予選敗退  
大久保 新月 100m 200m 予選敗退  
立花 旭 100m 200m 予選敗退

### 卓球部

【若手県高等学校総合体育大会 地区予選】

男子5名、女子2名参加 (シングルス、ダブルス)  
県大会通過者

大坪 辰 (シングルス)  
鹿糠 朱理 (シングルス)

【若手県高等学校総合体育大会】

男子学校対抗 1回戦 種市 1-13 水沢工業  
男子シングルス 1回戦 大坪 辰 0-13 一関修紅

女子学校対抗 1回戦 鹿糠 朱理 0-13 花巻農業  
女子シングルス 1回戦 鹿糠 朱理 0-13 花巻農業

【若手県ジュニア卓球選手権 県予選会】

男子シングルス 4名出場  
神山 遼・高谷 佳希  
大崎 和輝 1回戦敗退

【若手県高等学校新人大会 地区予選】

男子学校対抗 5チーム中 第3位で予選通過  
男子ダブルス 神山・高谷組 1回戦敗退

男子シングルス 4名出場  
十文字 大崎組 3回戦敗退

【若手県ジュニア卓球選手権大会県2次予選会】

女子シングルス 十文字星那 第4位(予選通過)

【若手県高等学校新人大会】

男子学校対抗 1回戦 種市 1-13 岩手高校  
男子シングルス 1回戦 十文字星那 3-11 西和賀高校

2回戦 十文字星那 0-13 専大北上  
女子シングルス 1回戦 鹿糠 朱理 0-13 盛岡第一

### ソフトテニス部

【若手県高等学校総合体育大会 地区予選】

団体戦 男子、女子とも全チーム通過  
個人戦 滝田太陽 滝田太一 地区2位

信田幸大 角嶋聖也 地区7位で県大会出場

【若手県高等学校総合体育大会】

女子 通過なし  
地区7位で県大会出場

【若手県高等学校新人大会 地区予選】

団体戦 男子 1回戦 1-12 一関学院  
個人戦 初戦敗退

【若手県高等学校新人大会 地区予選】

団体戦 男子、女子とも全チーム通過  
個人戦 滝田太一、角嶋聖也 地区5位で県大会出場

坂本日和が大野高校との混成チームで出場 予選リーグ敗退

【若手県高等学校新人大会】

個人戦 男子 滝田太一、角嶋聖也 予選リーグ敗退  
団体戦 男子 滝田太一、角嶋聖也 予選リーグ敗退

【久慈地区インドアソフトテニス大会】

個人戦 男子 滝田太一、角嶋聖也 予選リーグ敗退  
団体戦 男子 滝田太一、角嶋聖也 予選リーグ敗退

### 家庭部

【ポランテア活動】

ポケットティッシュケース奇贈  
【久慈地区高等学校総合文化祭】 作品展示

### 茶道部

【学童クラブ児童との茶道交流会】

お点前披露と簡単な指導  
【種高祭】 お点前披露

### 海洋開発科

【若手県溶接技術競技大会】

アーク溶接の部 優良賞  
【全国選抜高校生溶接技術競技会】 出場 向井 遼人

【高校生のものづくりコンテスト2019東北大会 測量部門】 出場 向井 遼人

【土木広報大賞2019】

企画部門 優秀部門賞  
「ヒロノジ」と学ぼう。生徒代表 澤山 翔

【全日本スポートダイビング室内選手権大会】

50mフリッパー 小林 凌雅 予選敗退  
100mフリッパー 松田 星愛 予選敗退  
400mフリッパー 栗村 魁 予選敗退

【若手県高校生溶接技術競技大会】

第2位 岡澤祥太郎  
第6位 滝谷 友基

## ガンバレ! 種市高校

自動車ガラス専門店  
株式会社 **みちのくオートグラス**  
代表取締役 佐々木 修悦  
(昭和54年度 普通科卒)  
〒031-0813 青森県八戸市大字新井田字小久保1-38  
TEL.0178-20-8440 FAX.0178-20-8441

株式会社 **大歩・DIVE-HaDS**  
代表取締役 中村 徹也  
〒041-0821 函館市港町3丁目5番19号  
TEL 0138-41-7117 FAX 0138-83-2467  
ホームページ <http://www.dive-hads.com>

**東北海洋作業株式会社**  
代表取締役 岩谷 多加夫  
(昭和51年度 水中土木科卒)  
〒039-1201 青森県三戸郡階上町大字道仏字耳ヶ吹2番29  
TEL.0178-51-9334 FAX.0178-80-1752

**アジア海洋株式会社**  
OCEAN WORKS ASIA  
代表取締役 柳井 紳太郎  
本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-25-9  
TEL : 03-3553-3286 FAX : 03-3553-3290 <http://www.owa.co.jp/>

令和2年度予定

お問い合わせは同窓会事務局まで ☎ 0194-65-2147

《同窓会総会》 《東京支部総会》  
 期日 令和2年5月16日(土) 期日 令和2年6月13日(土)  
 17:30~  
 会場 なかの食堂

《久慈支部総会》 《八戸支部総会》  
 期日 令和2年6月20日(土) 期日 令和2年7月4日(土)

同窓会収支決算報告

1 収 入 (単位：円)

項 目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘 要
1、繰越金	1,181,665	1,181,665	0	前年度繰越金
2、会費	291,000	288,150	△ 2,850	1,921人×150円
3、年会費	250,000	150,950	△ 99,050	158口分
4、協賛金	240,000	210,000	△ 30,000	頑張れ種市高校
5、雑収入	0	11,400	11,400	
合 計	1,962,665	1,842,165	△ 120,500	

2 支 出

項目	本年度 予算額	本年度 決算額	比較増減	摘要
1、事務費	50,000	4,935	△ 45,065	ラベルシート
2、通信費	80,000	31,960	△ 48,040	協賛金依頼礼状等郵送料
3、印刷費	150,000	25,596	△ 124,404	振込用紙印刷代
4、会報費	450,000	196,064	△ 253,936	会報印刷代 (136,080円/1,000部) 会報送料 (92円/652通)
5、会議費	50,000	0	△ 50,000	
6、旅費	250,000	179,280	△ 70,720	旅費 (東京支部総会)
7、事務局費	60,000	17,000	△ 43,000	総会支部総会事務局経費
8、学校振興費	150,000	71,730	△ 78,270	種高振興会賛助金、新聞広告
9、支部援助費	120,000	120,000	0	各支部 (東京、八戸、久慈)
10、卒業記念費	60,000	39,270	△ 20,730	卒業証書入れホルダー
11、交際費	30,000	20,000	△ 10,000	職員歓迎会、送別会
12、雑費	30,000	9,720	△ 20,280	卒業アルバム
13、予備費	482,665	0	△ 482,665	
合 計	1,962,665	715,555	△ 1,247,110	

3 差引残高

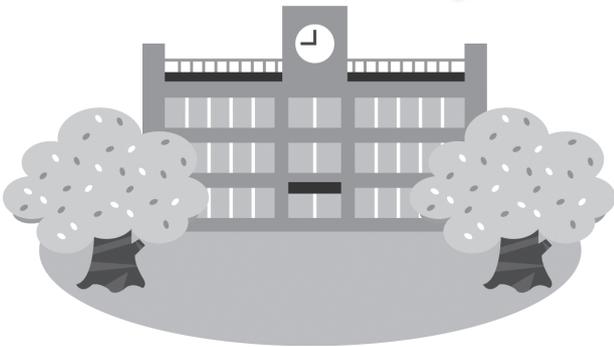
(収入) 1,842,165円 - (支出) 715,555円 = 1,126,610円

会員の活動情報をお寄せください

全国各地で活躍されている同窓会員について情報をお寄せください。また、今後の活動の案内などに会報をご利用ください。

また、この会報にて掲載してほしい記事、取り上げてほしい先生や同窓生などありましたら編集委員までご一報ください。

(電話、ファックス、メール問いません。種市高校まで)



今回も、「頑張れ種市高校」協賛企業のご協力で会報を発行することが出来ました。大変ありがとうございました。

昨年度の種市高校は、七代目種市丸の完成、時期の問題で記事に出来なかった箱根駅伝での卒業生の活躍など良い話題がたくさんある反面、少子化の波が押し寄せてきているのが感じられました。改めてご協力・ご支援を関係者の方々をお願い申し上げます。

(編集委員)

編集後記

同窓会は、会員の皆さまの『年会費』によって運営されています。この会費によって全国で活躍されている会員の皆様と母校とを結ぶかけ橋として同窓会報を継続発刊し、皆さまのお手元に届けております。

是非とも会費の納入をしていただき、会の発展にご協力をお願いします。



『会費 一、〇〇〇円/年』  
 右記会費の納入には、同封の振込用紙をご利用ください。  
 総会・支部総会の際にも会費の納入を受付けております。ご協力をお願いいたします。

事務局からのお願い  
 同窓会費の納入について